

平成23年度
事業計画変更及び予算変更書

財団法人日本吟剣詩舞振興会

平成 2 3 年度事業計画変更書

1. 事業計画変更の概要

平成 2 3 年 3 月 1 1 日に発生した東日本大震災により被災された方々に対し、謹んでお見舞申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご家族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

平成 2 3 年度事業計画及び収支予算の変更は、この東日本大震災発生に伴うもので、大地震と大津波による被災地の甚大被害の発生、頻発する余震と計画停電による混乱と各種行事の自粛中止、更には福島第一原発の大津波直撃による崩壊から生じた放射性物質の放出事故等々の影響から、全国吟詠及び剣詩舞コンクールの東日本各都県予選大会並びに東日本地区予選大会が中止されることになりました。この東日本における各種コンクール予選大会の中止決定に伴い、当会常任理事会では、9 月 1 8 日(日)、1 9 日(月)に計画した平成 2 3 年度全国吟詠コンクール決勝大会及び全国剣詩舞コンクール決勝大会開催の中止、並びに 1 1 月 1 3 日(日)に計画した第 4 4 回全国吟剣詩舞道大会の開催中止を決定するとともに、これに伴う平成 2 3 年度事業計画及び収支予算の変更を行なうことになった。

今回の事業計画の一部中止等の変更により生じた事業資金余裕額については、当初予算で予定した青少年育成基金取りくずし額 1 5, 4 0 0, 0 0 0 円を前年度と同額の 6, 5 0 0, 0 0 0 円に減額したことで、差額 8, 9 0 0, 0 0 0 円は青少年育成基金積立額として残ることになった。

2. 事業計画変更の内容

(1) 一般事業

② 協力援助事業

ニ. 青少年育成推進のための協力援助

吟詠及び剣詩舞コンクール決勝大会開催の中止に伴い幼少年参加者への旅費支給及び青少年上位入賞者への奨励金授与がなくなった。

④ 功労者表彰事業

武道館大会開催の中止に伴い平成23年度吟剣詩舞大賞受賞者の選考並びに表彰がなくなった。

(3) 振興事業

① 発表会開催事業

吟剣詩舞普及のための発表会の開催を行なう。

イ. 国民文化祭協賛事業・高松宮妃癌研究基金奉賛・第44回全国吟剣舞道大会は、東日本大震災被災地を包含する東日本地区都県吟剣詩舞道総連盟所属会員の大多数が参加者並びに大会実行役員となる全国大会であるため、諸般の状況を考慮して開催を取り止めることにした。

(4) 助成事業 公益財団法人日本財団助成事業

① 「吟剣詩舞普及振興のためのコンクールの開催」事業の実施

平成23年度全国吟詠コンクール及び平成23年度全国剣詩舞コンクールの決勝大会開催を中止した。なお、東日本大震災被災地を包含する東日本の都県予選大会及び東日本地区予選大会以外の道府県大会及び地区大会は予定通り実施すると共に同コンクール上位入賞者への会長賞授与を行なう。

平成23年度事業計画（変更分）

1. 方針

平成23年度は、近年の景気停滞にともなう基本財産利息収入の減少と、これを補う資金の不足のため、前年度同様、経費の削減をはかるとともに、振興事業（発表会開催、会報発行、教材頒布事業など）の実施にあたっては、収支のバランスを考慮して行なうものとする。

事業としては、吟剣詩舞の発表大会、各種コンクール並びに講習会の実施など主要事業のほか、吟詠専門委員会において編集作業を進めてきた「幼少年向け吟詠普及用テキストの作成頒布」及び「通信衛星による吟剣詩舞の普及振興」（レジャーチャンネル「吟剣詩舞の世界」放送）の事業を行なうものである。

事業のうち、各種コンクール及び講習会の実施は日本財団（財団法人日本船舶振興会）の助成事業として、「幼少年向け吟詠普及用テキストの作成頒布」及び通信衛星による吟剣詩舞の普及振興事業は、普及事業の広報活動事業の一環として実施するものとする。

ほかに、事業内容で前年度とかわる点は、本年度は隔年実施の全国剣詩舞群舞コンクールが行なわれる年度であり、剣詩舞指導者対象の講習会である「剣詩舞道大学」は開催されない。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災状況を考慮し、当初計画した事業計画の一部を変更した。

2. 事業計画

（1）一般事業

① 組織化促進事業

全国地区連絡協議会代表者会議の開催を行なう。

② 協力援助事業

優秀団体の行う行事に対する協力及び援助を行なう。

イ. 傘下団体の行う行事に対する協力援助

ロ. 全国高等学校総合文化祭・吟詠剣詩舞部門発表会に対する協力援助

ハ．国民文化祭・全国吟詠剣詩舞道祭に対する協力援助

ニ．青少年育成推進のための協力援助

③ 研究会開催事業

吟剣詩舞に関する各種研究会の開催を行なう。

イ．吟詠専門委員会の開催

ロ．剣詩舞専門委員会の開催

④ 功労者表彰事業

平成23年度吟剣詩舞大賞受賞者の選考並びに表彰は中止する。

(2) 普及事業

① 海外普及事業

海外普及状況調査並びに親善文化交流会等への協賛を行なう。

イ．海外普及状況調査及び資料収集

ロ．親善文化交流会開催への協賛

② 広報活動事業

吟剣詩舞の周知宣伝のための広報活動を行なう。

イ．インターネットの吟剣詩舞ホームページの運用維持

ロ．広報に関する協力団体への援助

ハ．「幼少年向け吟詠普及用テキストの作成頒布」事業の実施

(詳細は後述の「幼少年向け吟詠普及用テキストの作成頒布」事業計画書の通り)

ニ．「通信衛星による吟剣詩舞の普及振興」事業の実施

(詳細は後述の「通信衛星による吟剣詩舞の普及振興」事業計画書の通り)

(3) 振興事業

① 発表会開催事業

吟剣詩舞普及のための発表会の開催を行なう。

イ．国民文化祭協賛事業・高松宮妃癌研究基金奉賛・第44回全国吟剣詩舞道大会の開催は、東日本大震災の被災状況を考慮して中止する。

ロ．社会福祉法人恩賜財団母子愛育会奉賛・平成23年度全国名流吟剣詩舞道大会の開催

日 時 平成23年5月5日（木）こどもの日

場 所 広島市文化交流会館（広島県）

② 吟詠教本発行事業

吟詠統一教本（既刊図書）の作成配布を行なう。

③ 会報発行事業

吟剣詩舞に関する広報並びに教養誌として月刊「吟剣詩舞」の発行と頒布を行なう。

④ 教材頒布事業

吟剣詩舞道吟詠集（テープ及びCD）の作成配布及び吟剣詩舞道伴奏集（テープ及びCD）の監修指定など、吟剣詩舞に関する教材の製作頒布並びに頒布促進を行う。

（4）助成事業（公益財団法人日本財団助成事業）

① 「吟剣詩舞普及振興のためのコンクールの開催」事業の実施

平成23年度全国吟詠全国吟詠コンクール、平成23年度全国剣詩舞コンクール、平成23年度全国剣詩舞群舞コンクール及び第40回全国少壮吟詠家審査コンクールを開催する。ただし、全国吟詠及び全国剣詩舞コンクールの決勝大会の開催は、東日本大震災の被災状況を考慮して中止する。

（詳細は「吟剣詩舞普及振興のためのコンクールの開催」事業計画書の通り）

② 「吟剣詩舞普及振興のための講習会の開催」事業の実施

平成23年度夏季吟道大学及び平成23年度少壮吟士夏季吟詠特別研修会を開催する。

（詳細は「吟剣詩舞普及振興のための講習会の開催」事業計画書の通り）

(4) 日本財団【(財)日本船舶振興会】助成事業

① 事業名「吟剣詩舞普及振興のためのコンクールの開催」計画書（変更分）

目 的

近年、吟剣詩舞が普及するにともない、吟詠、剣舞及び詩舞のそれぞれの分野におけるより高度な技術的向上並びに芸術的向上が要求されるところとなった。そこで、吟詠、剣舞及び詩舞の各分野ごとの技術的、芸術的向上を図るための全国コンクールの開催をするものである。これらの吟剣詩舞の普及振興のための各種コンクールを通じて、吟詠、剣舞及び詩舞の技術的、芸術的向上を図り、もって吟剣詩舞の向上に資すると共にひいては日本文化の向上に寄与することを目的とする。

目 標

各コンクールそれぞれボランティアによる大会役員に支えられ県単位の第一次予選、全国7地区単位の第二次予選及び全国大会として決勝、決選大会を行うもので、近年は特に幼少年の育成に力をいれ確実に出場者を確保しているが、これをさらに推し進めたい。また、少壮コンクールにおいては、少壮吟士としての称号を付与するための厳しい審査基準及び年齢制限を設け、吟詠指導者の公の選出機関としての役目を引き続き果たしたい。

事業内容

a. 名 称

- (a)平成23年度全国吟詠コンクール（決勝大会のみ開催中止）
- (b)平成23年度全国剣詩舞コンクール（決勝大会のみ開催中止）
- (c)平成23年度全国剣詩舞群舞コンクール（当初計画通り実施）
- (d)第40回全国少壮吟詠家審査コンクール（当初計画通り実施）

b. 内 容

県単位及び全国7地区で予選を行い、吟詠、剣詩舞及び群舞コンクールは、すぐれた吟剣詩舞道者及び剣詩舞チームの発掘を行うとともに、少壮コンクールは吟詠指導者の研鑽の場とし、すぐれた吟詠家を選出する公の機関とする。

変更後の事業費総額及び助成金等

事業費総額	10,050,000円
助成金	8,040,000円
助成事業収入	2,010,000円（自己負担）

(4) 日本財団【(財)日本船舶振興会】助成事業

② 事業名「吟剣詩舞普及振興のための講習会の開催」計画書（変更なし）

目 的

近年、吟剣詩舞が普及するにともない、吟詠、剣舞及び詩舞のそれぞれの分野におけるより高度な技術的向上並びに芸術的向上が要求されるところとなった。そこで、吟詠、剣舞及び詩舞の各分野ごとの技術的、芸術的向上を図るため、指導者を対象にした講習会の開催をするものである。これらの吟剣詩舞の普及振興のための講習会の開催を通じて、吟詠、剣舞及び詩舞の技術的、芸術的向上を図り、もって吟剣詩舞の向上に資すると共にひいては日本文化の向上に寄与することを目的とする。

目 標

全国から選ばれた吟詠の指導者を受講対象者とした夏季吟道大学、少壮吟士称号保持者の研修を目的とした特別研修会を開催し、吟剣詩舞道の現状の把握と一層の芸術的向上を図るとともに、普及振興のための研究討議を行い、全国レベルで向上のための意見統一を図りたい。

事業内容

a. 名称及び開催場所

(a)平成23年度夏季吟道大学……………成田東武ホテルエアポート

(b)平成23年度少壮吟士夏季吟詠特別研修会…成田東武ホテルエアポート

b. 内 容

夏季吟道大学は全国から選ばれた吟詠の指導者を、少壮研修会は少壮吟士を対象に開催する研修会で、吟剣詩舞の幹部指導者の養成機関とする。

事業費総額及び助成金等

事業費総額	6,340,000円
助成金	5,070,000円
助成事業収入	1,270,000円（自己負担）

【(2)普及事業】②広報活動事業

ハ. 「幼少年向け吟詠普及用テキストの作成頒布」事業計画書

目 的

近年、吟剣詩舞が普及するにともない、次代を担う幼少年層への吟剣詩舞の普及向上が急務となり、幼少年向けの吟剣詩舞の素材となる漢詩、和歌、現代詩などを厳選した吟詠テキストの作成が要求されるようになった。

そこで、幼少年向け吟詠普及用テキストの作成頒布を行ない、吟詠、剣舞及び詩舞に親しむ幼少年たちの吟剣詩舞の普及向上を図り、もって吟剣詩舞の向上に資すると共にひいては日本文化の向上に寄与することを目的とする。

目 標

吟詠専門委員会委員及び有識者で組織する幼少年向け吟詠普及用テキスト刊行委員会において、掲載詩歌の選定並びに編集刊行を行ない、これを全国の文化関係機関、吟剣詩舞関係団体及び吟剣詩舞関係者に郵送頒布を行ない、幼少年層への吟剣詩舞の普及向上を図りたい。

事業内容

①名 称

『幼少年吟詠詩集（仮称）』（幼少年向け吟詠普及用テキスト）

②数 量

2, 000部

③規 格

A5判横組（100頁予定）

④内 容

掲載詩歌の詩文、アクセント表記、作者紹介、詩文解釈などを紹介する。

⑤頒布先

全国の文化関係機関並びに吟剣詩舞関係団体及び吟剣詩舞関係者へ、郵送により頒布する。

事業費総額

事業費総額 2, 000, 000円（自己負担）

【(2)普及事業】②広報活動事業

ニ. 「通信衛星による吟剣詩舞の普及振興」事業計画書

目 的

近年、吟詠、剣舞及び詩舞の普及については、興味、関心を持ちながら時間的余裕のない潜在的ファンに対し、身近なメディア（テレビ）で啓蒙を図ることが近道であり、また、既存会員の技術の向上を図るためには、全国大会等の中継録画を放映することによる優れた演舞を紹介することが不可欠である。よって、各家庭のテレビを通じて、吟詠、剣舞及び詩舞の魅力を紹介し、吟剣詩舞の普及啓蒙を図るとともに、会員の技術の向上を図ることを目的とする。

目 標

a. 一般への普及啓蒙

吟剣詩舞に興味、関心を持ちながら時間的余裕のない潜在的ファンに対し、身近なメディア（テレビ）で吟詠、剣詩舞を紹介し、吟剣詩舞の普及啓蒙を図りたい。

b. 会員の技術の向上

吟剣詩舞の全国大会やコンクールの模様を紹介することにより、全国レベルの吟剣詩舞を紹介し、大会やコンクールに直接参加することができない会員の技術の向上に役立てたい。

事業内容

通信衛星の回線を利用して吟剣詩舞の各種番組を全国に配信するもので、放映方法及び番組内容は、次のとおりである。

a. 衛星回線番組の放映方法

吟剣詩舞の30分番組（37本）を制作し、毎日、午前7時00分から7時30分までの時間帯に日本レジャーチャンネルの衛星回線より放映する。

b. 衛星回線番組の放映内容

全国大会の中継録画を核とし、過去の全国大会の企画構成吟ダイジェストや決勝コンクール入賞者ダイジェストなどを鑑賞する番組とする。

事業費総額

事業費総額 4,000,000円（自己負担）

平成23年度収支予算変更書総括表

平成23年4月 1日から
平成24年3月31日まで

(財)日本吟剣詩舞振興会

1. 収入の部

(単位：千円)

科 目	当初予算額合計	変更予算額合計	一 般 会 計	普及事業特別会計	振興事業特別会計
1. 基本財産利息収入	15,050	15,050	15,050	0	0
2. コンクール開催助成金収入	13,030	8,040	8,040	0	0
3 講習会開催助成金収入	5,070	5,070	5,070	0	0
4. 寄 付 金 収 入	1,000	1,000	1,000	0	0
5. 事 業 収 入	137,535	116,160	0	0	116,160
6. 助成事業収入	5,770	4,910	4,910	0	0
7. 普及事業基金利息収入	7,154	7,154	0	7,154	0
8. 雑 収 入	5,100	4,000	2,200	0	1,800
9. 青少年育成基金取りくずし	15,400	6,500	6,500	0	0
10. 他会計より繰入	11,175	4,500	0	0	4,500
当期収入合計	216,284	172,384	42,770	7,154	122,460
前期繰越収支差額	11,077	14,182	606	13,576	0
収 入 合 計	227,361	186,566	43,376	20,730	122,460

2. 支出の部

科 目	当初予算額合計	変更予算額合計	一 般 会 計	普及事業特別会計	振興事業特別会計
1. 管 理 費	54,000	54,000	11,120	2,191	40,838
(事業費合計)	(159,476)	(114,638)	(26,428)	(7,000)	(81,210)
2. コンクール開催事業費	16,288	10,050	10,050	0	0
3. 講習会開催事業費	6,338	6,338	6,338	0	0
4. 一 般 事 業 費	12,540	10,040	10,040	0	0
5. 普 及 事 業 費	7,000	7,000	0	7,000	0
6. 振 興 事 業 費	117,310	81,210	0	0	81,210
7. 退職手当引当金繰入	700	700	700	0	0
8. 他会計へ繰入	11,175	4,500	4,500	0	0
9. 予 備 費	2,010	1,650	628	461	561
当期支出合計	227,361	175,488	43,376	9,652	122,460
当期収支差額	▲11,077	▲3,104	▲606	▲2,498	0
次期繰越収支差額	0	11,078	0	11,078	0

平成 2 3 年 度 収 支 予 算 変 更 書

(平成 2 3 年 4 月 1 日 から平成 2 4 年 3 月 3 1 日 まで)

《合 計》

財団法人日本吟剣詩舞振興会

1) 収 入 の 部

(単位：円)

科 目 区 分	当 初 予 算 額	変 更 予 算 額	増 減 (▲)	備 考
1. 基本財産利息収入	15,050,000	15,050,000	0	
2. コンクール開催助成金収入	13,030,000	8,040,000	▲4,990,000	吟詠、剣詩舞コンクール決勝中止助成金減
3. 講習会開催助成金収入	5,070,000	5,070,000	0	
4. 寄付金収入	1,000,000	1,000,000	0	
5. 事業収入	137,535,000	116,160,000	▲21,375,000	
(1) 会員券売上収入	(31,225,000)	(9,850,000)	(▲21,375,000)	
① 名流大会売上	10,000,000	9,850,000	▲150,000	名流大会会員券売上減
② 武道館大会売上	21,225,000	0	▲21,225,000	武道館大会中止会員券売上減
(2) 吟詠教本売上収入	(10,400,000)	(10,400,000)	(0)	
(3) 会報売上収入	(70,000,000)	(70,000,000)	(0)	
(4) 教材売上収入	(25,910,000)	(25,910,000)	(0)	
6. 助成事業収入	5,770,000	4,910,000	▲860,000	
(1) コンクール出場料収入	(2,370,000)	(1,510,000)	(▲860,000)	吟詠、剣詩舞コンクール決勝中止出場料減
(2) 講習会参加料収入	(3,400,000)	(3,400,000)	(0)	
7. 普及事業基金利息収入	7,154,000	7,154,000	0	
8. 雑収入	5,100,000	4,000,000	▲1,100,000	
(1) 受取利息	(100,000)	(100,000)	(0)	
(2) 雑収入	(5,000,000)	(3,900,000)	(▲1,100,000)	コンクール採点票等資料頒布代減
9. 青少年育成基金取りくずし収入	15,400,000	6,500,000	▲8,900,000	青少年育成基金取りくずし収入減
10. 他会計より繰入	11,175,000	4,500,000	▲6,675,000	区分会計勘定間の資金繰入減
当期収入合計 (A)	216,284,000	172,384,000	▲43,900,000	
前期繰越収支差額	11,077,000	14,182,000	3,105,000	
収入合計 (B)	227,361,000	186,566,000	▲40,795,000	

2) 支 出 の 部

科 目 区 分	当 初 予 算 額	変 更 予 算 額	増 減 (▲)	備 考
1. 管 理 費	54,000,000	54,000,000	0	
(1)給 料 手 当	(19,550,000)	(19,550,000)	(0)	
(2)福 利 厚 生 費	(2,710,000)	(2,710,000)	(0)	
(3)会 議 費	(1,220,000)	(1,220,000)	(0)	
(4)旅 費 交 通 費	(9,610,000)	(9,610,000)	(0)	
(5)通 信 運 搬 費	(850,000)	(850,000)	(0)	
(6)什 器 備 品 費	(250,000)	(250,000)	(0)	
(7)消 耗 品 費	(380,000)	(380,000)	(0)	
(8)印 刷 製 本 費	(1,590,000)	(1,590,000)	(0)	
(9)光 熱 水 料 費	(6,220,000)	(6,220,000)	(0)	
(10)賃 借 料	(10,620,000)	(10,620,000)	(0)	
(11)雑 費	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
(事 業 費 合 計)	(159,476,000)	(114,638,000)	(▲44,838,000)	
2. コンクール開催事業費	16,288,000	10,050,000	▲6,238,000	吟詠、剣詩舞コンクール決勝中止経費減
3. 講習会開催事業費	6,338,000	6,338,000	0	
4. 一般事業費	12,540,000	10,040,000	▲2,500,000	
(1)組織化促進費	(1,380,000)	(1,380,000)	(0)	
(2)協力援助費	(9,900,000)	(7,900,000)	(▲2,000,000)	コンクール決勝中止幼少年出場者旅費減
(3)研究会開催費	(760,000)	(760,000)	(0)	
(4)功労者表彰費	(500,000)	(0)	(▲500,000)	武道館大会中止による功労者表彰費減
5. 普及事業費	7,000,000	7,000,000	0	
(1)海外普及費	(200,000)	(200,000)	(0)	
(2)広報活動費	(6,800,000)	(6,800,000)	(0)	
6. 振興事業費	117,310,000	81,210,000	▲36,100,000	
(1)発表会開催費	(50,000,000)	(13,900,000)	(▲36,100,000)	
①名流大会開催費	13,000,000	13,900,000	900,000	名流大会開催会場費等増
②武道館大会開催費	37,000,000	0	▲37,000,000	武道館大会中止による開催費減
(2)吟詠教本発行費	(5,070,000)	(5,070,000)	(0)	
(3)会報発行費	(54,000,000)	(54,000,000)	(0)	
(4)教材頒布費	(8,240,000)	(8,240,000)	(0)	
7. 退職手当引当金繰入	700,000	700,000	0	
8. 他会計へ繰入	11,175,000	4,500,000	▲6,675,000	区分会計勘定間の資金繰入減
9. 予 備 費	2,010,000	1,650,000	▲360,000	
当期支出合計 (C)	227,361,000	175,488,000	▲51,873,000	
当期収支差額(A)-(C)	▲11,077,000	▲3,104,000	7,973,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	11,078,000	11,078,000	

2. 借 入 金 限 度 額 10,000,000円 但し、年度内決済する借入に限る。

3. 債 務 負 担 額 な し

平成 2 3 年 度 収 支 予 算 変 更 書

(平成 2 3 年 4 月 1 日 から平成 2 4 年 3 月 3 1 日 まで)

< 一 般 会 計 >

財団法人日本吟剣詩舞振興会

1) 収 入 の 部

(単位：円)

科 目 区 分	予 算 額	変 更 予 算 額	増 減 (▲)	備 考
1. 基本財産利息収入	15,050,000	15,050,000	0	
2. コンクール開催助成金収入	13,030,000	8,040,000	▲4,990,000	コンクール決勝大会中止助成金減
3. 講習会開催助成金収入	5,070,000	5,070,000	0	
4. 寄付金収入	1,000,000	1,000,000	0	
5. 助成事業収入	5,770,000	4,910,000	▲860,000	
(1)コンクール出場料収入	(2,370,000)	(1,551,000)	(▲860,000)	コンクール決勝大会中止出場料減
(2)講習会参加料収入	(3,400,000)	(3,400,000)	(0)	
6. 雑収入	2,600,000	2,200,000	▲400,000	コンクール決勝中止協賛金収入減
7. 青少年育成基金取りぐずし収入	15,400,000	6,500,000	▲8,900,000	青少年育成基金取りぐずし収入減
8. 他会計より繰入	0	0	0	
当期収入合計(A)	57,920,000	42,770,000	▲15,150,000	
前期繰越収支差額	3,567,000	606,000	▲2,961,000	
収入合計(B)	61,487,000	43,376,000	▲18,111,000	

2) 支出の部

科目区分	当初予算額	変更予算額	増減(▲)	備考
1. 管理費	13,741,000	11,120,000	▲2,621,000	会計間共通経費負担率
(1)給料手当	(4,285,000)	(4,395,000)	(110,000)	給料比 22.48%
(2)福利厚生費	(594,000)	(468,000)	(▲126,000)	〃
(3)会議費	(423,000)	(274,000)	(▲149,000)	収入比 17.27%
(4)旅費交通費	(3,335,000)	(2,160,000)	(▲1,175,000)	給料比 22.48%
(5)通信運搬費	(295,000)	(191,000)	(▲104,000)	〃
(6)什器備品費	(87,000)	(56,000)	(▲31,000)	〃
(7)消耗品費	(132,000)	(85,000)	(▲47,000)	〃
(8)印刷製本費	(552,000)	(358,000)	(▲194,000)	〃
(9)光熱水料費	(1,363,000)	(1,074,000)	(▲284,000)	給料比 17.27%
(10)賃借料	(2,328,000)	(1,834,000)	(▲494,000)	〃
(11)雑費	(347,000)	(225,000)	(▲122,000)	収入比 22.48%
2. コンクール開催費	16,288,000	13,900,000	▲2,388,000	コンクール決勝大会中止経費減
3. 講習会開催費	6,338,000	6,338,000	0	
4. 一般事業費	12,540,000	10,040,000	2,500,000	
(1)組織化促進費	(1,380,000)	(1,380,000)	(0)	
(2)協力援助費	(9,900,000)	(7,900,000)	(2,000,000)	コンクール決勝中止幼少年旅費減
(3)研究会開催費	(760,000)	(760,000)	(0)	
(4)功労者表彰費	(500,000)	(0)	(500,000)	武道館大会中止功労者表彰費減
5. 退職手当引当金繰入	700,000	700,000		
6. 他会計へ繰入	11,175,000	4,500,000	6,675,000	振興事業会計への資金繰入減
7. 予備費	705,000	628,000	▲77,000	
当期支出合計(C)	61,487,000	43,376,000	▲18,111,000	
当期収支差額(A-C)	▲3,567,000	▲606,000	2,960,000	
次期繰越収支差額(B-C)	0	0	0	

平成 2 3 年 度 収 支 予 算 変 更 書

(平成 2 3 年 4 月 1 日 から平成 2 4 年 3 月 3 1 日 まで)

＜ 普及事業特別会計 ＞

財団法人日本吟剣詩舞振興会

1) 収 入 の 部

(単位：円)

科 目 区 分	当初予算額	予算変更額	増 減 (▲)	備 考
1. 普及事業基金利息収入	7,154,000	7,154,000	0	
当期収入合計(A)	7,154,000	7,154,000	0	
前期繰越収支差額	7,510,000	7,510,000	0	
収 入 合 計 (B)	14,664,000	14,664,000	0	

2) 支 出 の 部

科 目 区 分	当初予算額	変更予算額	増 減 (▲)	備 考
1. 管 理 費	6,865,000	2,191,000	▲4,674,000	会計間共通経費負担率
(1)給 料 手 当	(3,156,000)	(866,000)	(▲2,290,000)	給料比 3.40%
(2)福 利 厚 生 費	(437,000)	(92,000)	(▲345,000)	〃
(3)会 議 費	(46,000)	(54,000)	(8,000)	収入比 4.43%
(4)旅 費 交 通 費	(357,000)	(426,000)	(69,000)	〃
(5)通 信 運 搬 費	(32,000)	(38,000)	(6,000)	〃
(6)什 器 備 品 費	(9,000)	(11,000)	(2,000)	〃
(7)消 耗 品 費	(14,000)	(17,000)	(3,000)	〃
(8)印 刷 製 本 費	(59,000)	(70,000)	(11,000)	〃
(9)光 熱 水 料 費	(1,004,000)	(212,000)	(▲792,000)	給料比 3.40%
(10)賃 借 料	(1,714,000)	(361,000)	(▲1,353,000)	〃
(11)雑 費	(37,000)	(44,000)	(7,000)	収入比 4.43%
2. 普 及 事 業 費	7,000,000	7,000,000	0	
(1)海 外 普 及 費	(200,000)	(200,000)	(0)	
(2)広 報 活 動 費	(6,800,000)	(6,800,000)	(0)	
3. 他 会 計 へ 繰 入	0	0	0	
4. 予 備 費	799,000	461,000	▲338,000	
当期支出合計(C)	14,664,000	9,652,000	▲5,012,000	
当期収支差額(A-C)	▲7,150,000	▲2,498,000	4,652,000	
次期繰越収支差額(B-C)	0	11,078,000	11,078,000	

平成 2 3 年 度 収 支 予 算 変 更 書

(平成 2 3 年 4 月 1 日 から平成 2 4 年 3 月 3 1 日 まで)

＜ 振興事業特別会計 ＞

財団法人日本吟剣詩舞振興会

1) 収 入 の 部

(単位：円)

科 目 区 分	当初予算額	予算変更額	増 減(▲)	備 考
1. 事 業 収 入	137,535,000	116,160,000	▲21,375,000	
(1) 会 員 券 売 上 収 入	(31,225,000)	(9,850,000)	(▲21,375,000)	
① 名 流 大 会 売 上	10,000,000	9,850,000	▲150,000	名流大会開催実施会員券売上減
② 武 道 館 大 会 売 上	21,225,000	0	▲21,225,000	武道館大会中止会員券売上減
(2) 吟 詠 教 本 売 上 収 入	(10,400,000)	(10,400,000)	(0)	
(3) 会 報 売 上 収 入	(70,000,000)	(70,000,000)	(0)	
(4) 教 材 売 上 収 入	(25,910,000)	(25,910,000)	(0)	
2. 雑 収 入	2,500,000	1,800,000	▲700,000	
(1) 受 取 利 息	(0)	(0)	(0)	
(2) 雑 収 入	(2,500,000)	(1,800,000)	(▲700,000)	合吟コンクール写真代収入等減
3. 他 会 計 よ り 繰 入	11,175,000	4,500,000	▲6,675,000	一般会計勘定よりの資金繰入減
当 期 収 支 合 計 (A)	151,210,000	122,460,000	▲28,750,000	
前 期 繰 越 収 支 差 額	0	0	0	
収 入 合 計 (B)	151,210,000	122,460,000	▲28,750,000	

2) 支出の部

科目区分	当初予算額	変更予算額	増減(▲)	備考
1. 管理費	33,394,000	40,689,000	7,295,000	会計間共通経費負担率
(1) 給料手当	(12,109,000)	(14,289,000)	(2,180,000)	給料比 73.09%
(2) 福利厚生費	(1,679,000)	(2,150,000)	(471,000)	〃
(3) 会議費	(751,000)	(892,000)	(141,000)	収入比 79.33%
(4) 旅費交通費	(5,918,000)	(7,024,000)	(1,106,000)	〃
(5) 通信運搬費	(523,000)	(621,000)	(98,000)	〃
(6) 什器備品費	(154,000)	(183,000)	(29,000)	〃
(7) 消耗品費	(234,000)	(278,000)	(44,000)	〃
(8) 印刷製本費	(979,000)	(1,162,000)	(183,000)	〃
(9) 光熱水料費	(3,853,000)	(4,934,000)	(1,081,000)	給料比 73.09%
(10) 賃借料	(6,578,000)	(8,425,000)	(1,847,000)	〃
(11) 雑費	(616,000)	(731,000)	(115,000)	収入比 79.33%
2. 振興事業費	117,310,000	81,210,000	▲36,100,000	
(1) 発表会開催費	(50,000,000)	(13,900,000)	(▲36,100,000)	
① 名流大会開催費	13,000,000	13,900,000	900,000	名流大会開催実施会場費等増
② 武道館大会開催費	37,000,000	0	▲37,000,000	武道館大会中止に伴う経費減
(2) 吟詠教本発行費	(5,070,000)	(5,070,000)	(0)	
(3) 会報発行費	(54,000,000)	(54,000,000)	(0)	
(4) 教材頒布費	(8,240,000)	(8,240,000)	(0)	
3. 予備費	506,000	561,000	55,000	
4. 他会計へ繰入	0	0	0	
当期支出合計 (C)	151,210,000	122,460,000	▲28,750,000	
当期収支差額 (A - C)	0	0	0	
次期繰越収支差額 (B - C)	0	0	0	